

令和7年5月6日

## P T A 総会挨拶

校長 村井 浩昭

皆さん失礼いたします。今年度小松高校校長二年目となります村井浩昭といたします。小松高校は、県立高校では、一番広い敷地を誇り、毎年四月には桜が見事に咲き誇り、今は新緑の季節、四季折々の自然を感じ、気持ちが引き締まり、教職員は、この養正が丘で支援ができること、生徒はここで学ぶことが素晴らしいことと感じる場所です。

今年度の入学生が現小松高校の最後の入学生です。来年度からは新小松高校が開校し、新しい学校として入学生を受け入れることとなります。同じこの養正が丘で、同じ小松高校という名前で全く新しい学校ですが、P T A、同窓会は共同で行うように進めております。未来へつながるように準備をしております。

今年度は一年生普通科91名ライフデザイン科17名の108名の入学者でした。ライフデザイン科が少し少なかったのですが、全校生徒は360名でスタートしております。P T Aの皆様のおかげで落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っています。日頃から本校の教育活動に御理解、御協力、御尽力していただき、感謝しております。本日もお休みの日にも関わらず、足元の悪い中、来校していただき、ありがとうございます。今後とも引き続きよろしく願いいたします。

今年度、本校の重点努力目標を「情理を尽くす 学び合い 高め合い 築き合い」—伝統を継承し、養正が丘から未来を拓く—といたしました。私の教育理念は「情理一体」です。感情や情緒といった心の部分と、理屈や理論といった知識の部分のバランスよく兼ね備えた人材を育成したいと考えています。「情理を尽くす」とは、相手のことを慮りながら道理にかなった行動をすることです。関わり合うすべての人と互いに尊重しながら切磋琢磨し成長してほしいと願っています。

小松高校は実用女学校からはじまり、子安中学校、子安高校を経て現在の小松高校となり、令和8年度から新しい小松高校になります。歴史や時代が求める学校に変わることにはなりますが、お子様を育て、進路実現を図ることには変わりありません。今いる生徒たちに一番の支援ができるようかつ、新校への橋渡しができるよう、生徒に対しても学校に対しても未来への扉を拓きたいと考えています。

最後になりますが、子どもたちの健やかな成長のために何より大切なのは、学校・家庭・地域が手を携え、信頼のもとで歩みをとることにすることだと考えております。

私たち教職員一同、生徒一人一人の可能性を信じ、その歩みに寄り添いながら、日々全力を尽くしてまいります。

今後とも変わらない御理解と御協力、御支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。